

SONY

スタートアップガイド

XPERIA J1
Compact
D5788

よくある質問

次のサイトでよくある質問の解決方法などを確認することができます。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

取扱説明書（ヘルプガイド）

詳しい操作説明については、ホーム画面で  [取扱説明書] をタップして『取扱説明書（ヘルプガイド）』をご覧ください。

また、次のサイトにアクセスしても『取扱説明書（ヘルプガイド）』を確認できます。

http://www.sonymobile.co.jp/support/use_support/manual/d5788/index.html



1294638214

1294-6382.1

ご使用にあたって

同梱されている『重要なお知らせ（安全のために）』を必ずお読みください。

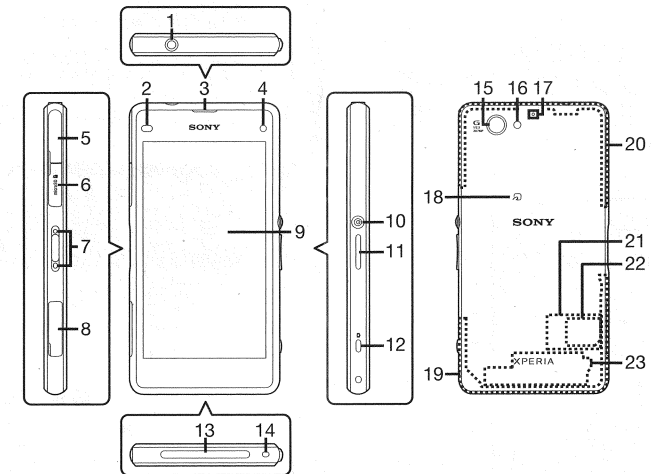
お買い上げ時の同梱物は次のとおりです。

- 本体（保証書付き）
- AC アダプター
- 卓上ホルダ
- microUSB ケーブル
- スタートアップガイド（本書）
- 重要なお知らせ（安全のために）

◆ お知らせ

- 本書で掲載しているイラストや画面はイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。

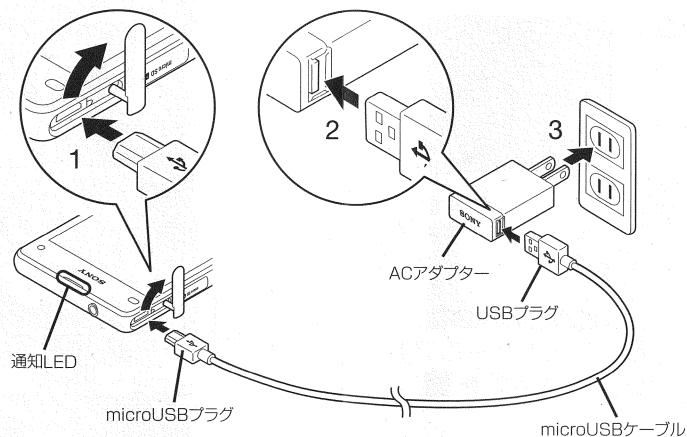
各部の名称と機能



- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 ヘッドセット接続端子 | 12 カメラキー |
| 2 近接センサー | 13 送話口（マイク）／スピーカー |
| 3 受話口／通知 LED | 14 ストラップホール |
| 充電中の電池の状態やメールの受信などを点灯／点滅でお知らせします。 | 15 カメラレンズ |
| 4 フロントカメラレンズ | 16 フラッシュ／フラッシュライト |
| 5 microUSB 接続端子 | 17 セカンドマイク |
| 6 microSD カード挿入口 | 18 ㊦ マーク |
| 7 卓上ホルダ用接触端子 | 19 内蔵アンテナ部 |
| 8 SIM カード挿入口 | 20 内蔵アンテナ部／GPS アンテナ部 |
| 9 タッチスクリーン | 21 銘板プレート |
| 10 電源キー／画面ロックキー | 22 SIM カード |
| 11 音量キー／ズームキー | 23 Wi-Fi／Bluetooth アンテナ部 |

充電する

充電する際は、接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。

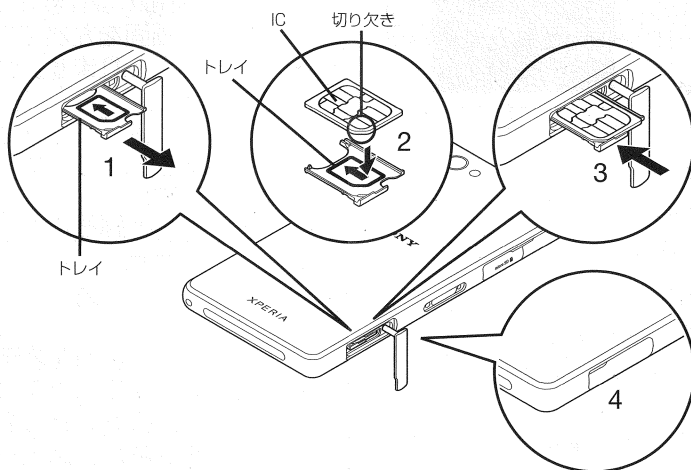


お知らせ

・同梱されている卓上ホルダを使って充電することもできます。

SIM カードを取り付ける

SIM カードを取り付ける際は、SIM カードの向きをよくご確認の上、正しく取り付けてください。



SIM カードを取り外すには

トレイを本製品から引き出して取り外します。SIM カードを取り外した後、トレイを本製品に差し込み、まっすぐに押し込んでください。

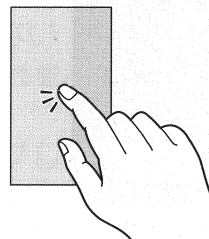
！注意

・SIM カードの取り付け／取り外しを行った後は、挿入口カバーを閉じてしっかりと押し込んでください。

タッチスクリーンの使いかた

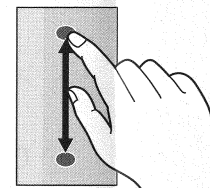
タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。



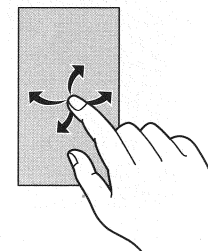
ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。



フリック／スワイプ

画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。



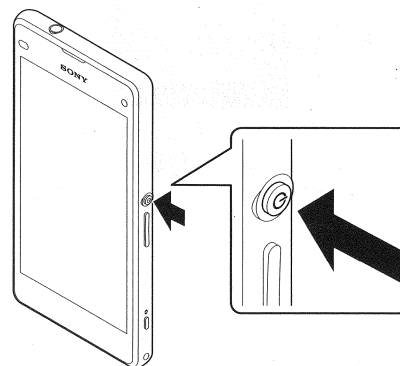
電源を入れる

1 電源ボタンを1秒以上長押しする

- ・本製品が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。

2 画面を上下または左右にスワイプ

- ・画面ロックが解除されます。



電源を切るには

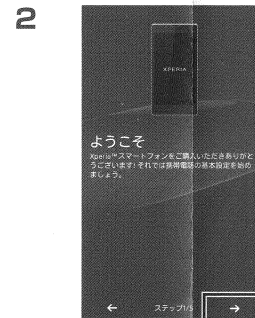
電源ボタンを1秒以上長押しして、[電源を切る] ▶ [OK] をタップしてください。

初期設定を行う

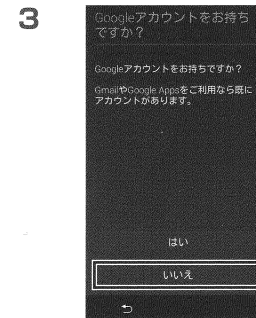
初めて電源を入れたときは、画面の指示に従って、Google アカウントや基本の設定を行います。



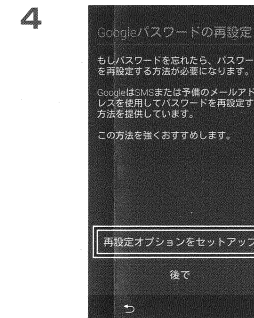
1 [日本語] ▶ [完了]



2 → をタップ



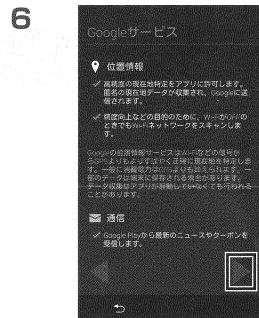
3 [はい] ※1 ▶ [アカウントを作成] ▶ 画面の指示に従って操作



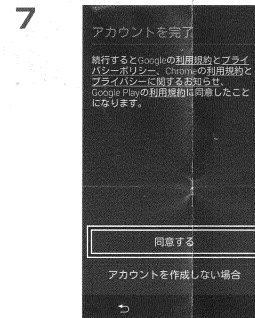
4 [再設定オプションをセットアップ]



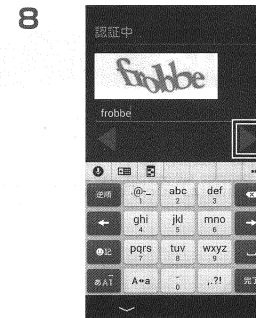
5 電話番号とメールアドレス ※2 を入力 ▶



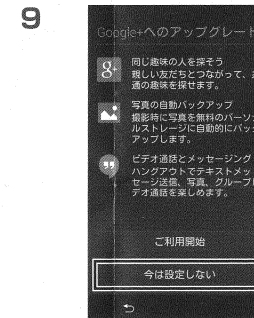
6 Google サービスの設定を確認 ▶ ■ をタップ



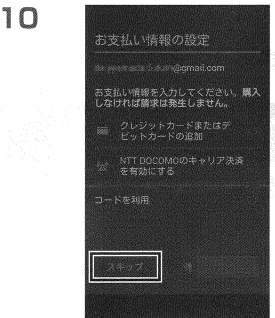
7 利用規約などを確認 ▶ [同意する]



8 表示されているテキストを入力 ▶ ■ をタップ



9 [今は設定しない] ※3



10 [スキップ] ※3



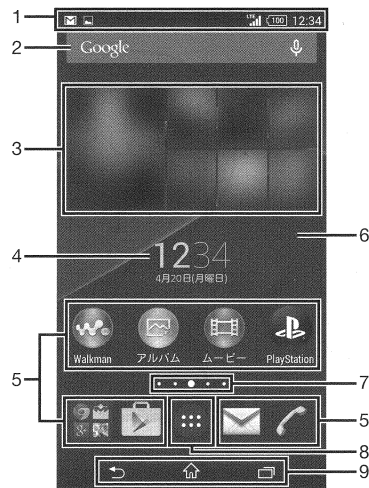
11 → をタップ



12 その他のアカウントや自動同期を設定 ▶ → ▶ [終了]

- ※1 すでに Google アカウントをお持ちの場合は、手順3で「はい」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- ※2 手順5で登録するメールアドレスは、パスワードを忘れた場合などに Google からお客様に連絡するために使用します。別のメールアドレスをお持ちでない場合は、空白のままにしておいてください。
- ※3 手順9～10では必要に応じて、Google に関する設定や Google Play のお支払い設定を行ってください。

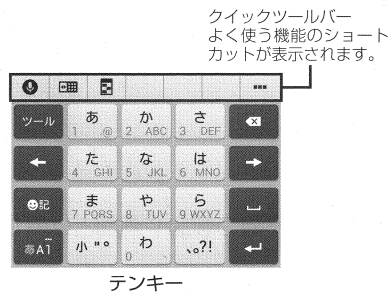
ホーム画面の見かた



- 1 ステータスバー
- 2 ウィジェット：Google 検索
- 3 ウィジェット：What's New
- 4 ウィジェット：Sony 時計
- 5 ショートカット（アプリ）
- 6 壁紙
- 7 ホーム画面の現在表示位置
 - ・ホーム画面を左右にフリックすると切り替えられます。
- 8 アプリボタン
 - ・アプリ画面からさまざまな機能を呼び出すことができます。
- 9 キーアイコン
 - 直前の画面に戻したり、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。
 - ホーム画面を表示します。
 - 最近使用したアプリを一覧表示し、起動したり終了したりします。また、スモールアプリを使用できます。

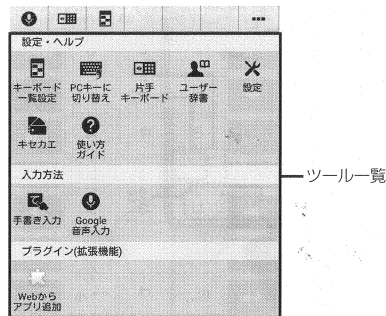
文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、メール作成時などに文字入力欄をタップすると表示されます。



ツール一覧

Quick Tool Barの をタップするとツール一覧が表示されます。ツール一覧では、ソフトウェアキーボードや手書き入力・音声入力の切り替え、設定の変更などができます。



お知らせ

- ・ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面下に表示される をタップします。
- ・ソフトウェアキーボードを切り替えるには、ツール一覧で [PC キーに切り替え] / [テンキーに切り替え] をタップします。文字種ごとにキーボードを設定する場合は、ツール一覧で [キーボード一覧設定] ▶ 文字種ごとにキーボードを選択 ▶ [OK] をタップします。

電話をかける

- 1 ホーム画面で ▶ [発信] タブをタップ
- 2 電話番号を入力 ▶ をタップ
 - ・ をタップすると、番号を削除できます。
- 3 通話が終了したら [通話終了]

電話を受ける

画面ロック設定中でも、電話を受けることができます。

- 1 着信時に (左) を (右) にドラッグ
- 2 通話が終了したら [通話終了]

着信を拒否する

- 1 着信時に (右) を (左) にドラッグ

通話音量を調節する

- 1 通話中に音量キーを押す

Google アカウントを設定する

Google アカウントを設定すると、Gmail や Google Play などの Google サービスを利用できます。

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Google]
- 2 画面の指示に従って Google アカウントを設定

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイントを設定／変更することができます。

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [その他の設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]
 - ・利用中のアクセスポイントが表示されます。必要に応じて、アクセスポイントの設定や変更を行ってください。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- ・電池切れになっていませんか。→「充電する」

通知 LED が赤色に点滅し、操作ができない

- ・電池残量が少ない場合は充電してください。→「充電する」

タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- ・電源が切れていませんか。→「電源を入れる」
- ・画面ロックを設定していませんか。→「電源を入れる」

ディスプレイが暗い

- ・スリープモードになっています。Ⓢ を押してください。

お問い合わせ先

お取り扱いについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

■ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

お問い合わせ先：
ソニーモバイル・スマートフォン相談窓口

050-3754-9013（有料）

- ・番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

営業時間：平日10：00～18：00
土・日・祝日10：00～17：00

ホームページ：
<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

取扱説明書

重要なお知らせ(安全のために)

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XPERIA J1 Compact D5788

5GHz機器使用上の注意事項

本機は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を使用できます。

-5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）

-5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）

-5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

本機に内蔵の無線LAN（WLAN）を5.2／5.3GHz帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。



著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作権者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

本機を廃棄するときのご注意



Li-ion

本機の内蔵電池はリサイクルできます。この内蔵電池の取り外しはお客様自身では行わず、相談窓口にご相談ください。



運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください
火災、やけど、感電の原因となります。



下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。



特定の状況下では、ワイヤレス機器を使用しない

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、ホーム画面で●▶〔設定〕▶〔その他の設定〕▶「機内モード」にチェックを入れて、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。また、緊急の場合には、直ちに本機の電源を切ってください。

- 満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

安全規制について

電波法に基づく認証について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 改造された本機は絶対に使用しないでください。
改造した本機を使用した場合は電波法に抵触します。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技術マーク㊿」が本機の電子銘板に表示されています。電子銘板は、ホーム画面で●▶〔設定〕▶〔端末情報〕▶〔法的情報〕▶〔認証〕をタップしてご確認ください。

本機のネジを外すなどして内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

AC電源の遮断について

- ㊿（電源キー）を押して電源を切っても、本機は、電源からは完全に遮断されていません。
電源から切り離すためには、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く必要があります。
不具合を感じた場合はすぐにコンセントからプラグを抜

安全のために

本機は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

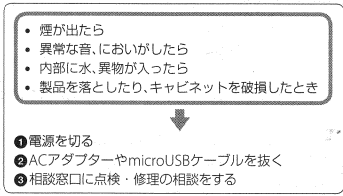
安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに相談窓口にお問い合わせください。

万一異常が起きたら



データはバックアップをとる

記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。

本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

るように、ACアダプターは、コンセントの近くでください。

ACアダプターについて

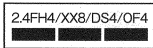
ACアダプターは、対応のものをお使いください。

同梱のACアダプターの仕様について

型名	EP880
入力	AC100V-240V 0.25A 50/60Hz
出力	5V 1.5A
動作温度	5℃～35℃

周波数帯について

本機のBluetooth機能／無線LAN機能が使用できるのは、次のとおりです。



2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/XX/DS/OF：変調方式がFH-SS、その他の方式、OFDMであることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用する移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂・死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故・けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることになります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。



表示中の画面を長時間継続して見ない
表示中の画面を長時間見続けると、目が疲れ力が低下するおそれがあります。
表示中の画面を見続けて体の一部に不快感を感じたときは、すぐに本機の使用をやめてください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



タッチスクリーンなどを使いすぎない
タッチスクリーンなどを長時間使い続けると、首が痛くなったりすることがあります。
タッチスクリーンなどを使用中、体の一部に痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめてください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



大音量で長時間続けて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けると、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量にしましょう。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- その他、ご不明な点につきましては、相談窓口までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。



危険

火災 感電 破裂

下記の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

-  **指示** 内蔵電池が液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水で洗い流す
傷害を起こすおそれがあります。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので擦らずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。本機に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
-  **指示** 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には内蔵電池の寿命ですので使用しない
内蔵電池は消耗品です。発熱・発火・破裂・漏液の原因となることがあります。



警告

火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

-  **禁止** 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください
また、熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください
上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。



注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしったり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

-  **禁止** 指定されたmicroUSBケーブルを使う
指定されたmicroUSBケーブル以外は本機にはご使用にならないでください。発熱により火災・感電の原因となることがあります。
-  **禁止** microUSBケーブルをACアダプターに巻き付けない
断線の原因となることがあります。
-  **禁止** 歩きながら本機を使用しない
歩きながら細かい操作をしたり、表示画面を注視すると、思わぬ事故に遭いけがをするおそれがあります。
-  **禁止** 充電中の本機やACアダプター、または電源の入った状態の本機に長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。
また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどになる可能性があります。
-  **禁止** 本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない
熱がこもって本体が変形したり、故障や火災の原因となることがあります。

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

2.4GHz機器使用上の注意事項

- WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、相談窓口までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 - その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口までお問い合わせください。

-  **禁止** 電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
-  **水ぬれ禁止** 内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、ACアダプターやmicroUSBケーブルを抜いてください。
-  **分解禁止** 内部を開けない
本機および同梱の機器（microUSBケーブルを含む）は、開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
-  **禁止** 指定のACアダプター以外は使用しない
火災や感電、誤動作の原因になります。
-  **禁止** 落雷のおそれがあるときは本機を使用しない
落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにACアダプターを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。
-  **ぬれた手でACアダプターに触らない**
ぬれた手でACアダプターの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。
-  **禁止** 卓上ホルダの接触端子（マグネットコネクタ）に、金属類を触れさせない
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

-  **禁止** 不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  **プラグをコンセントから抜く**
お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く
電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。
-  **注意** 移動させるときは、ACアダプターやmicroUSBケーブルを抜く
接続したまま移動させるとACアダプターやmicroUSBケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようご注意ください。
-  **注意** 端子はきちんと接続する
•接続端子の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
•端子はまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
-  **プラグをコンセントから抜く**
長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。



本機の接続端子カバー部などの隙間に爪を入れたり、
本機の段差などに爪を掛けて使用しない
本機の隙間に爪を入れたり、本機の段差に爪を引っ掛
けた状態で使用すると、けがの原因となることがあり
ます。



取扱説明書は、ソニーモバイルコミュニケーションズ

取扱説明書は、ソニーモバイルコミュニケーションズ

取扱説明書は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社または各地域の関連会社が保証なしで発行する

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際
お買い上げ店でお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存し
てください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修
理させていただきます。
- 部品の保有期間について
当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するた
めに必要な部品）を、製造打ち切り後3年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。

携帯電話機の比吸収率などについて

Mobile phone: GSM/GPRS/EDGE 850/900/1800/
1900 & UMTS/HSPA B1/5/6/19 & LTE B1/3/19/
21

18

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

■ Europe

This mobile phone model D5788 has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User's Guide. SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand): For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

23

モバイルコミュニケーションズ株式会社が行います。当該変更箇所は、取扱説明書の改訂版（最新版）に適用されます。

本機には、追加コンテンツをダウンロード、保存、送信する機能が備わっています。このようなコンテンツの使用は、サードパーティに帰属する権利（適用される著作権法の制限を含むがこの限りではない）により、制限または禁止されている場合があります。本機にダウンロードした、または本機から転送したコンテンツについては、当社ではなく、お客様自身が全責任を負うものとしします。追加コンテンツを使用する前に、お客様の意図する用途がライセンスにより許諾されていること、またはその他の許可を得ていることを確認してください。当社は、追加コンテンツ、またはサードパーティのコンテンツの正確性、完全性、または品質については、一切保証しません。いかなる状況においても、当社は、追加コンテンツ、またはサードパーティのコンテンツの不適切な使用については一切責任を負わないものとしします。

取扱説明書では、サードパーティが提供するサービスやアプリについて言及する場合もあります。この種のプログラミングまたはサービスを使用するには、提供するサードパーティへの登録、および使用契約が別途必要になる場合があります。サードパーティのWebサイトでアクセスしたアプリについては、Webサイトの利用規約と当該プライバシーポリシーを事前にご確認ください。当社では、サードパーティのWebサイト、または提供されたサービスの可用性、またはパフォーマンスについては、保証を行いません。

取扱説明書に記載された商品および会社名はすべて各所有者の商標または登録商標です。本書に明示されていない他の権利

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種D5788の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は1.33W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.89W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

19

The highest SAR value for this model phone when tested by Sony for use at the ear is 1.33W/kg (10g). In the case where the phone is worn on the body, the highest tested SAR value is 0.83W/kg (10g).

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.

24

イラストはいずれも説明のみを目的とするものであり、実際の機器を正確に表してはいない場合もあります。

製品法令遵守：本製品は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社により、またはその委託を受けて製造されています。各国の制定法に基づく製品法令遵守に関するお問い合わせについては、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社までお願いします。サービスまたは保証の内容については、同梱の保証書に記載された連絡先詳細情報を参照してください。